

令和7年度下水道事業の取組について

塩竈市上下水道部下水道課
令和8年7月31日



令和7年度下水道事業の取組について

【目 次】

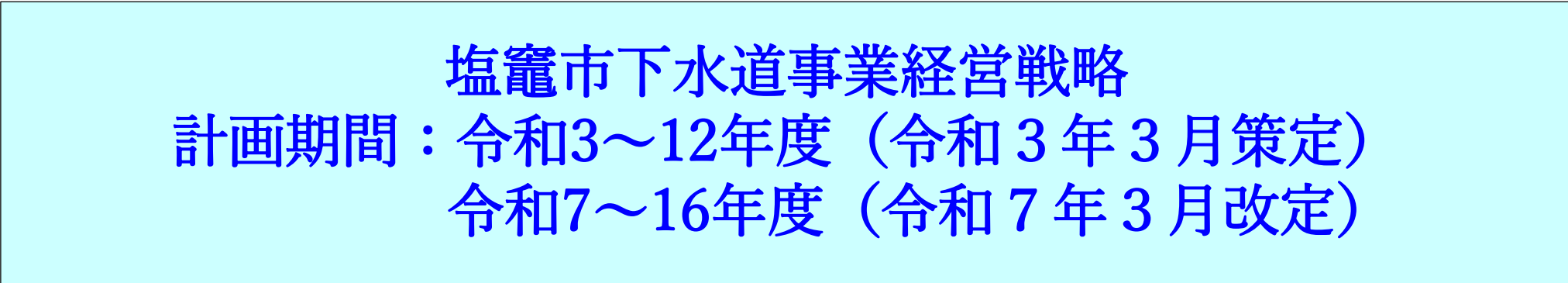
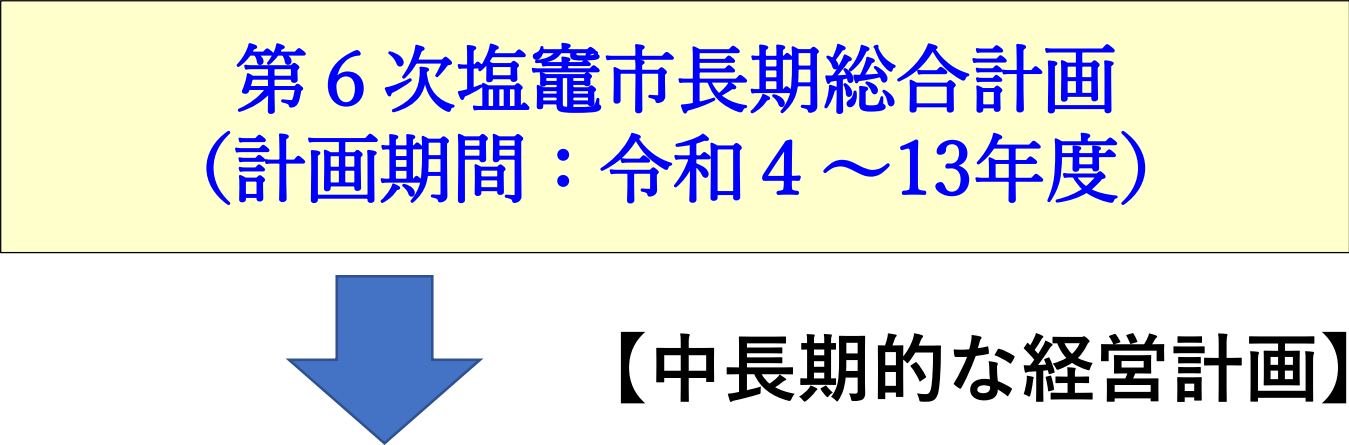
- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 計画の体系・計画期間・・・P3 | 9. 使用料・・・P14 |
| 2. 前年度との比較・・・P4 | 10. 相互利用負担金・・・P15 |
| 3. 収益的収支の状況・・・P5 | 11. 流域下水道事業関係・・・P18 |
| 4. 資本的収支の状況・・・P6 | 12. 建設改良工事の概況・・・P19 |
| 5. 収益的収支の比較・・・P8 | 13. 経営指標に関する事項・・・P20 |
| 6. 資本的収支の比較・・・P11 | 14. 財務諸表・・・P25 |
| 7. 行政区域内人口、処理区域人口・P12 | 15. 全国特別重点調査について・・・P27 |
| 8. 処理水量・有収水量・・・P13 | |



令和 7 年度下水道事業の取組について

1. 計画の体系・計画期間

(1) 計画の位置付け



(2) 計画期間

計画名		年度															
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	
長期総合計画		第5次		第6次											第7次		
下水道事業 経営戦略	従前																
	改定	反映		総括													総括
包括的民間委託							Ⅰ期		Ⅱ期5年 or ウォーター-PPP10年								...



令和7年度下水道事業の取組について

2. 前年度との比較

※令和7年度は決算見込みの内容となっています

(単位:千円, %)

項 目	令和7年度	令和6年度	比較	
			増・減	増減率
収益的収支(税抜)	318,709	354,781	△ 36,072	△ 10.17%
資本的収支(税込)	△ 1,031,431	△ 1,367,153	335,722	24.56%
損益勘定留保資金	985,953	1,005,564	△ 19,611	△ 1.95%
資本的収支調整額	28,378	15,902	12,476	78.46%
翌年繰越工事資金	87,059	25,534	61,525	240.95%

単年度現金収支	388,668	34,628	354,040	1,022.41%
累積資金収支 (内部留保資金)	1,314,744	926,076	388,668	41.97%

○純利益は、318,709千円（税抜）で、前年度の354,781千円（税抜）と比較し、36,072千円（前年度比△10.17％）の減収。

○資本的収支は、不足額1,031,431千円（税込）で、前年度不足額1,367,153千円（税込）と比較し、335,772千円（前年度比24.56％）の不足額減少。

○総合現金収支は、388,688千円で、前年度の34,628千円に対し、354,040千円（前年度比1,022.41％）の増加。制度改正により資本費平準化債の発行可能額が増えたため大幅な増となった。



3. 収益的収支の状況

(単位:千円, %, 税抜)

項 目	令和7年度	令和6年度	比較	
			増・減	増減率
下水道事業収益	3,975,822	4,378,650	△ 402,828	△ 9.20%
下水道事業費用	3,657,113	4,023,869	△ 366,756	△ 9.11%
当期純利益	318,709	354,781	△ 36,072	△ 10.17%

〔前年度比の主な増減理由〕

◆収益的収入 〔前年度比 △402,828千円〕 (※1) 現金を伴わない収益

- 他会計負担金 △ 21,213千円 * 繰入金総額の減少に伴う減
- 他会計補助金 △111,632千円 * 基準外繰入金の減少に伴う減
- 長期前受金戻入 (※1) △126,757千円 * 一部資産の償却終了に伴う減
- 過年度損益修正益 (※1) △160,853千円 * 減価償却費の再算定終了に伴う減

◆収益的支出 〔前年度比 △366,756千円〕 (※2) 現金を伴わない損失

- 委託料 80,279千円 * 雨水管理総合計画策定業務委託等による増
- 人件費 △14,046千円 * 下水道施設包括的民間委託導入に伴う減
- 減価償却費 △39,992千円 * 一部資産の償却終了に伴う減
- 臨時損失 (※2) △104,802千円 * 災害復旧工事の完了による減
- 過年度損益修正損 (※2) △229,205千円 * 減価償却費の再算定終了に伴う減

4. 資本的収支の状況

(単位:千円, %, 税込)

項 目	令和7年度	令和6年度	比較	
			増・減	増減率
資 本 的 収 入	2,953,640	2,360,520	593,120	25.13%
繰 越 財 源	△ 87,059	△ 25,534	△ 61,525	-240.95%
資 本 的 支 出	3,898,012	3,702,139	195,873	5.29%
収 支 差 引	△ 1,031,431	△ 1,367,153	335,722	24.56%

〔前年度決算比の主な増減理由〕

◇資本的収入 〔前年度比 593,120千円〕

企業債 557,700千円 * 制度改正による資本費平準化債の増

国庫補助金 36,713千円 * 藤倉汚水ポンプ場改築工事（2期）による増

◇資本的支出 〔前年度比 195,873千円〕

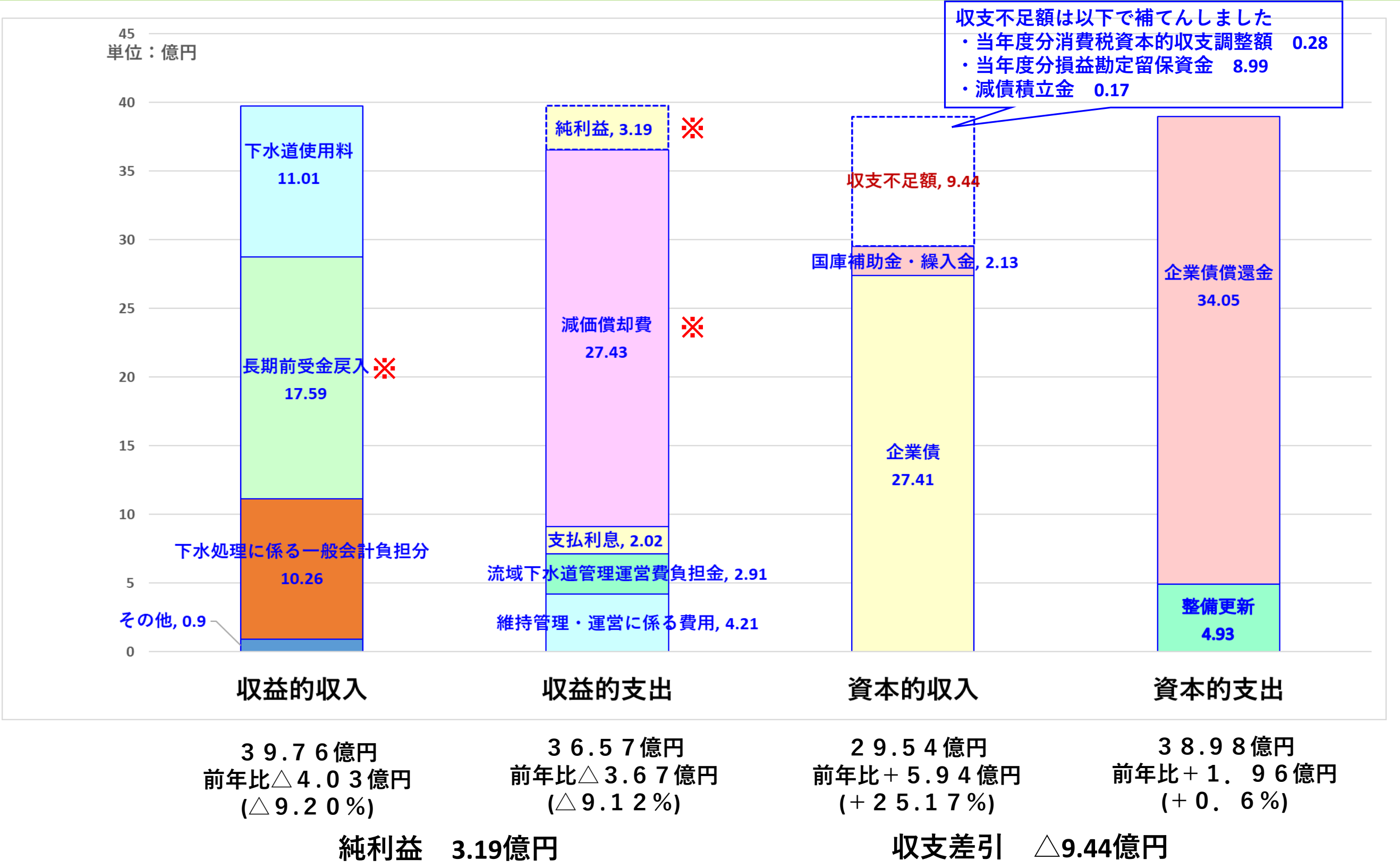
ポンプ場建設改良費 235,706千円 * 藤倉汚水ポンプ場等のポンプ設備更新による増

流域下水道建設費負担金 9,371千円 * 流域下水道建設工事増加による増

管渠建設改良費 △6,956千円 * 繰越工事の減

災害復旧事業費 △42,109千円 * 災害復旧工事完了による減

令和7年度下水道事業の取組について



※長期前受金戻入、減価償却費、純利益・・・会計帳簿上の処理のみで、現金支出の動きを伴わない経費と利益

5. 収益的収支の比較

(単位：千円) 税抜

事業年度			2020	2021	2022	2023	2024	2025
科目			令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
収 入	営業収益		1,814,568	1,765,695	1,707,628	1,700,249	1,750,991	1,719,725
	下水道使用料		1,149,163	1,125,203	1,110,840	1,107,043	1,110,903	1,100,841
	他会計負担金	雨水処理負担金	665,286	640,369	596,657	593,095	639,977	618,764
	その他営業収益	手数料	119	123	131	111	111	120
	営業外収益		2,707,489	2,756,550	2,479,494	2,429,890	2,460,929	2,250,220
	他会計負担金		624,242	649,258	638,367	617,545	518,695	407,063
	国庫補助金		43,896	8,103	0	5,452	14,655	41,335
	長期前受金戻入		2,001,459	2,057,109	1,797,029	1,769,638	1,885,798	1,759,040
	雑収益	その他雑収益	37,892	42,080	44,098	37,255	41,781	42,782
	特別利益		26,895	48,461	56	69	166,730	5,877
	過年度損益修正益		0	185	56	69	166,730	5,877
	その他特別利益		26,895	48,276	0	0	0	0
		合計	4,548,952	4,570,706	4,187,178	4,130,208	4,378,650	3,975,822



令和 7 年度下水道事業の取組について

(単位：千円) 税抜

事業年度			2020	2021	2022	2023	2024	2025
科目			令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
支出	営業費用		3,624,691	3,563,300	3,370,678	3,340,724	3,459,275	3,438,433
	管渠費	管渠費_計	83,764	66,859	62,116	62,214	98,069	123,543
		人件費	30,410	32,630	31,344	28,663	30,494	29,912
		委託料	36,496	17,644	10,258	25,410	44,787	91,425
		修繕費	231	555	1,006	198	2,032	278
		工事費	7,479	9,170	13,619	5,245	18,915	70
		その他	9,148	6,860	5,889	2,698	1,841	1,858
	ポンプ場費	ポンプ場費_計	153,286	128,119	134,323	140,414	138,562	151,305
		人件費	47,283	42,460	43,528	50,682	50,680	36,617
		燃料費	524	323	784	629	270	600
		光熱水費	1,022	1,533	986	1,202	1,116	1,194
		通信運搬費	2,149	2,335	2,531	3,305	3,240	3,309
		動力費	28,978	31,152	40,585	40,093	42,506	40,887
		委託料	63,695	37,601	31,960	32,081	31,148	67,469
		修繕費	721	818	1,115	1,918	6,250	200
		工事費	6,120	9,625	10,268	7,765	1,100	0
		その他	2,794	2,272	2,566	2,739	2,252	1,029
	処理場費	処理場費_計	21,048	9,515	9,393	5,496	12,103	6,146
		光熱水費	33	42	54	35	35	34
		通信運搬費	198	175	154	159	171	160
		動力費	1,590	1,558	2,362	1,870	1,769	1,745
		委託料	16,448	3,699	5,384	2,805	5,330	4,165
		修繕費	0	90	165	221	157	0
		工事費	2,718	3,876	1,180	365	4,530	
		その他	61	75	94	41	111	42



令和7年度下水道事業の取組について

(単位：千円) 税抜

事業年度				2020	2021	2022	2023	2024	2025
科目				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
支	出	普及指導費		5	4	16	90	36	30
		業務費	業務費_計	54,753	55,540	54,369	54,399	54,658	55,859
			委託料	54,623	55,395	54,224	54,232	54,468	55,649
			その他	130	145	145	167	190	210
		総係費	総係費_計	71,972	62,928	68,704	64,335	63,764	65,653
			人件費	56,335	50,767	53,257	51,665	49,057	49,258
			備消耗品費	706	1,144	1,204	1,222	1,105	729
			委託料	5,774	6,067	2,554	2,631	2,695	4,671
			使用料	605	1,305	905	834	767	955
			負担金	7,646	2,912	9,002	6,780	8,543	9,210
			その他	906	733	1,782	1,203	1,597	830
		流域下水道管理運営費負担金	負担金	279,670	281,197	281,749	269,893	305,524	290,903
		減価償却費		2,960,193	2,957,471	2,725,759	2,725,060	2,783,455	2,743,463
		資産減耗費	固定資産除去費	0	1,667	34,249	18,823	3,104	1,531
	出	営業外費用		352,142	316,041	285,406	251,970	230,587	218,680
		支払利息及び企業債取扱諸費	企業債利息	345,035	313,465	280,684	246,930	218,848	201,568
		雑支出	その他雑支出	7,107	2,576	4,722	5,040	11,739	17,112
		特別損失	特別損失_計	79,970	77,514	169	8,007	334,008	0
			過年度損益修正損	214	1,416	89	688	229,205	0
			臨時損失	48,567	76,098	80	7,319	104,803	0
			その他特別損失	31,189	0	0	0	0	0
	出	予備費		0	0	0	0	0	0
		予備費		0	0	0	0	0	0
		合計		4,056,803	3,956,855	3,656,253	3,600,701	4,023,870	3,657,113
当年度純利益(又は純損失)				492,149	613,851	530,925	529,507	354,780	318,709



令和7年度下水道事業の取組について

6. 資本的収支の比較

(単位：千円) 税込

事業年度		2020	2021	2022	2023	2024	2025
科目		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収 入	企業債	1,932,800	1,926,000	2,027,900	2,083,500	2,183,400	2,741,100
	受益者負担金	1,079	529	454	426	74	74
	国庫補助金	884,361	564,537	228,299	211,485	50,346	87,059
	他会計補助金	139,707	120,293	120,748	122,979	126,700	125,407
	返還金	257	0	0	0	0	0
	合計(A)	2,958,204	2,611,359	2,377,401	2,418,390	2,360,520	2,953,640
(翌年度へ繰越される支出の財源に充当する額) (B)		0	77,670	98,774	45,984	25,534	87,059

支 出	建設改良費	126,646	202,824	252,962	378,832	254,858	493,144
	管渠建設改良費	22,983	16,431	110,497	119,503	91,437	91,371
	管渠建設改良費(繰越分)	90,881	111,975	99,636	156,509	6,890	0
	ポンプ場建設改良費	0	0	0	36,343	79,604	225,830
	ポンプ場建設改良費(繰越分)	0	0	0	32,769	0	89,480
	処理場建設改良費	0	32,890	0	0	0	0
	処理場建設改良費(繰越分)	0	9,680	32,890	0	0	0
	流域下水道建設費負担金	12,782	31,371	9,562	32,333	76,545	85,916
	施設購入費	0	477	377	1,375	382	547
	災害復旧事業	922,394	596,365	221,721	208,253	42,110	0
	災害復旧事業費	74,095	70,099	97,861	30,140	0	0
	災害復旧事業費(繰越分)	848,299	526,266	123,860	178,113	42,110	0
	復興事業費(繰越分)	300,147	0	0	0	0	0
	企業債償還金	3,343,115	3,319,251	3,259,105	3,109,855	3,405,171	3,404,868
	一般会計繰出金	15,131	0	0	0	0	0
	予備費	0	0	0	0	0	0
	合計(C)	4,707,433	4,118,440	3,733,788	3,696,940	3,702,139	3,898,012
資本的収入額が資本的支出額に不足する額(A)-(B)-(C)		△ 1,749,229	△ 1,584,751	△ 1,455,161	△ 1,324,534	△ 1,367,153	△ 1,031,431



令和7年度下水道事業の取組について

7. 行政区域内人口、処理区域内人口

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
行政区域内人口（人）	53,354	52,863	52,296	51,891	51,533	50,833
公共下水道処理区域内人口（人）	53,004	52,522	51,975	51,587	51,244	50,572
漁業集落排水処理区域内人口（人）	155	150	143	140	136	132
普及率（％）	99.63	99.64	99.66	99.68	99.70	99.75

R7	自然動態									社会動態									純増減 （自然増減＋社会増減）			
	出生			死亡			増減			転入			転出			増減			男	女	計	前年同月 純増減数
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計				
合計	100	78	178	400	394	794	△ 300	△ 316	△ 616	829	874	1,703	854	933	1,787	△ 25	△ 59	△ 84	△ 325	△ 375	△ 700	△ 358

R6	自然動態									社会動態									純増減 （自然増減＋社会増減）			
	出生			死亡			増減			転入			転出			増減			男	女	計	前年同月 純増減数
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計				
合計	108	99	207	434	369	803	△ 326	△ 270	△ 596	950	940	1,890	847	805	1,652	103	135	238	△ 223	△ 135	△ 358	△ 405

R5	自然動態									社会動態									純増減 （自然増減＋社会増減）			
	出生			死亡			増減			転入			転出			増減			男	女	計	前年同月 純増減数
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計				
合計	120	113	233	396	398	794	△ 276	△ 285	△ 561	876	966	1,842	817	869	1,686	59	97	156	△ 217	△ 188	△ 405	△ 567

人口は、今後も進む少子高齢化や自然動態による減少が継続するものと見込んでいます。

令和7年度下水道事業の取組について

8. 処理水量・有収水量

全体

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
処理水量	7,849,640m ³	7,804,355m ³	7,742,099m ³	7,559,695m ³	7,459,162m ³	7,526,487m ³
有収水量	6,135,038m ³	6,028,621m ³	5,936,835m ³	5,931,791m ³	5,939,053m ³	5,886,936m ³
有収率	78.16%	77.25%	76.68%	78.47%	79.62%	78.22%

公共

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
処理水量	7,745,221m ³	7,730,923m ³	7,724,038m ³	7,544,271m ³	7,445,637m ³	7,512,731m ³
有収水量	6,122,869m ³	6,017,542m ³	5,953,469m ³	5,920,659m ³	5,928,655m ³	5,877,285m ³
有収率	79.05%	77.84%	77.08%	78.48%	79.63%	78.23%

漁集

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
処理水量	104,419m ³	73,432m ³	18,695m ³	15,424m ³	13,525m ³	13,756m ³
有収水量	12,169m ³	11,079m ³	11,186m ³	11,132m ³	10,398m ³	9,651m ³
有収率	11.65%	15.09%	59.83%	72.17%	76.88%	70.16%



令和7年度下水道事業の取組について

9. 使用料

単位：円

年度	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
公共	税抜	1,146,945,240	1,123,168,190	1,108,734,484	1,105,044,579	1,108,960,426	1,099,029,060
	税込	1,261,637,847	1,235,481,734	1,219,607,931	1,215,549,034	1,219,840,217	1,208,904,072
	前年度増減		△ 23,777,050	△ 14,433,706	△ 3,689,905	3,915,847	△ 9,931,366

年度	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
漁集	税抜	2,217,480	2,035,108	2,105,420	1,998,080	1,942,160	1,811,600
	税込	2,439,228	2,238,618	2,315,962	2,197,888	2,136,376	1,992,760
	前年度増減		△ 182,372	70,312	△ 107,340	△ 55,920	△ 130,560

下水道使用料における営業収益の柱となる下水道使用料の減少の要因として、節水機器の普及や少子高齢化に伴う自然動態及び社会動態による人口減が考えられます。



1 0．相互利用負担金（流出）

本 市 近隣自治体（多賀城市・利府町）とは、相互利用協定（特定区域の汚水について、互いの公共下水道管へ接続、流入）を取り交わし、負担金による対応としています。

 本市からは、多賀城市へ流出し、中南部流域下水道仙塩浄化センターへ流入しています。

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7
件数		1,088件	1,080件	1,083件	1,095件	1,093件	1,066件
月平均		91件	90件	90件	91件	91件	89件
排水量(A)		17,698m ³	17,385m ³	17,269m ³	16,961m ³	17,090m ³	16,919m ³
(A) × 30%		5,308m ³	5,214m ³	5,179m ³	5,087m ³	5,125m ³	5,073m ³
計		23,006m ³	22,599m ³	22,448m ³	22,048m ³	22,215m ³	21,992m ³
単価(税込) / m ³		39.8円	39.8円	39.8円	39.8円	44.8円	42.5円
相互利用負担金 (流出) 多賀城市	税抜	832千円	818千円	812千円	798千円	905千円	849千円
	税込	916千円	899千円	893千円	878千円	995千円	934千円



令和7年度下水道事業の取組について

相互利用負担金（流入）

多賀城市

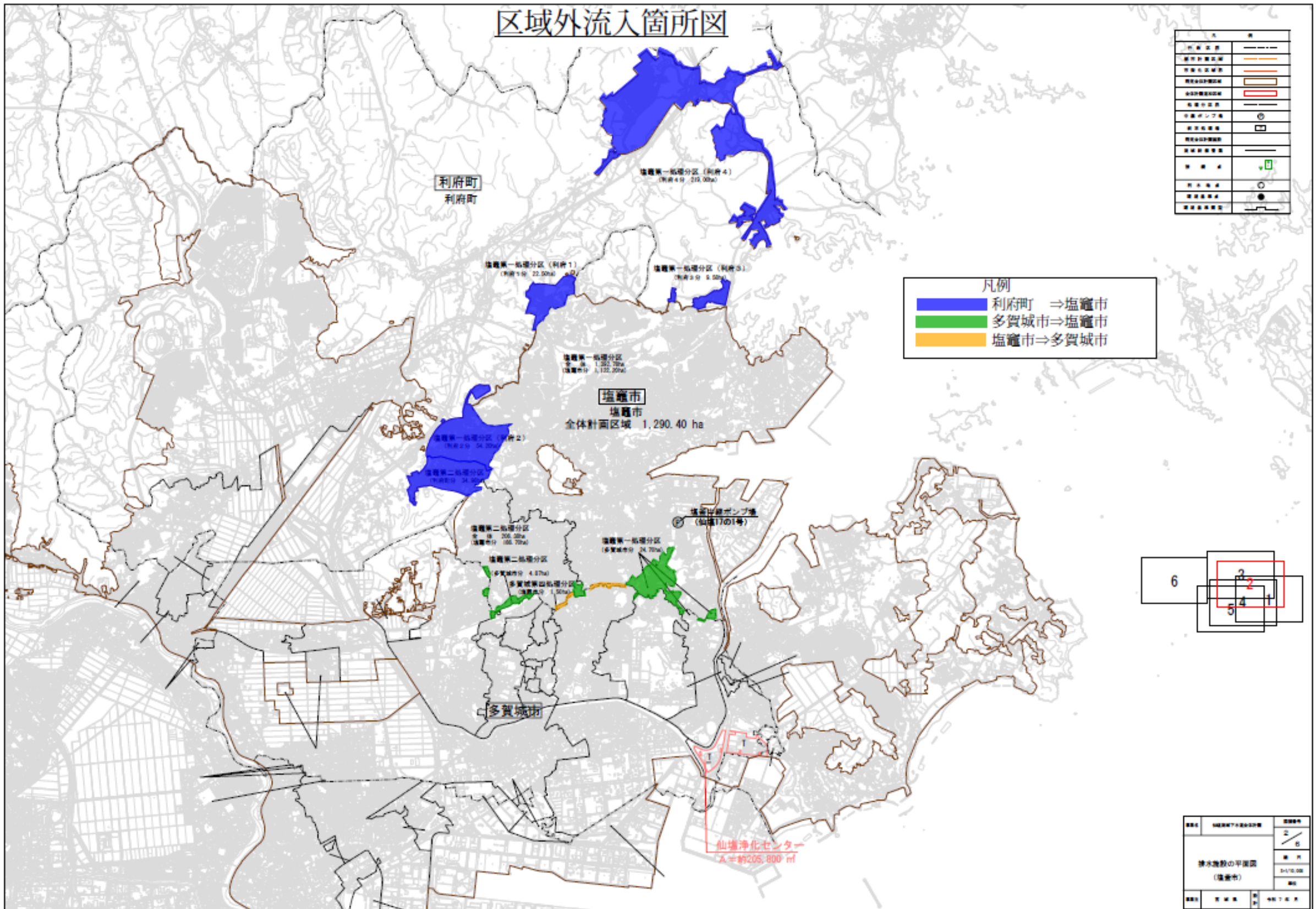
年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7
件数		6,899件	6,943件	7,053件	7,226件	7,298件	7,221件
月平均		575件	579件	588件	602件	608件	606件
排水量(A)		112,873m ³	111,686m ³	110,489m ³	112,137m ³	113,853m ³	111,232m ³
(A) × 30%		33,860m ³	33,504m ³	33,144m ³	33,640m ³	34,154m ³	33,367m ³
計		146,733m ³	145,190m ³	143,633m ³	145,777m ³	148,007m ³	144,599m ³
単価(税込) / m ³		39.8円	39.8円	39.8円	39.8円	44.8円	42.5円
相互利用負担金 (流入) 多賀城市	税抜	5,309千円	5,253千円	5,197千円	5,274千円	6,028千円	5,582千円
	税込	5,840千円	5,779千円	5,717千円	5,802千円	6,631千円	6,140千円

利府町

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7
件数		30,583件	31,143件	31,710件	32,372件	32,801件	33,328件
月平均		2,549件	2,595件	2,643件	2,698件	2,733件	2,777件
排水量(A)		649,240m ³	659,560m ³	654,205m ³	648,754m ³	656,461m ³	654,372m ³
(A) × 30%		194,772m ³	197,866m ³	196,260m ³	194,624m ³	196,936m ³	196,309m ³
計		844,012m ³	857,426m ³	850,465m ³	843,378m ³	853,397m ³	850,681m ³
単価(税込) / m ³		39.8円	39.8円	39.8円	39.8円	44.8円	42.5円
相互利用負担金 (流入) 利府町	税抜	30,538千円	31,023千円	30,771千円	30,515千円	34,757千円	32,836千円
	税込	33,592千円	34,126千円	33,849千円	33,566千円	38,232千円	36,120千円



令和7年度下水道事業の取組について



令和7年度下水道事業の取組について

1 1. 流域下水道事業関係 流域下水道維持管理等負担金

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7
排水量		7,730千m ³	7,772千m ³	7,787千m ³	7,459千m ³	7,502千m ³	7,536千m ³
流域下水道管理運営負担金	税抜	279,670千円	281,197千円	281,749千円	269,893千円	305,524千円	290,903千円
	税込	307,637千円	309,317千円	309,924千円	296,883千円	336,076千円	319,993千円
単価(税込) / m ³		39.8円	39.8円	39.8円	39.8円	44.8円	42.5円

宮城県建設事業市町村負担金（流域下水道事業）

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7
流域下水道建設負担金	税抜	11,620千円	28,519千円	8,693千円	29,394千円	69,586千円	78,105千円
	税込	12,782千円	31,371千円	9,562千円	32,333千円	76,545千円	85,916千円

本市の汚水処理は、松島湾・七北田川等の公共水域の水質保全を図るため、3市2町（仙台市、塩竈市、多賀城市、七ヶ浜町、利府町）の汚水进行处理する中南部流域下水道仙塩浄化センターで行っています。

そのため、汚水処理に係る費用及び汚水処理施設費用として、宮城県は流域下水道管理運営負担金等及び流域下水道建設負担金を支払っています。

流域下水道事業維持管理等負担金は、前年度の臨時改定単価44.8円から42.5円に変更となったことで、排水量は増となりましたが、負担金は減となっています。



令和7年度下水道事業の取組について

12. 建設改良工事の概況

工 事 名	施 工 内 容	工事費（円）	着工年月日	竣工年月日	債務負担
令6-単 石田污水MP場運転制御装置更新工事	運転制御装置 N＝一式	36,780,000 (13,130,000)	R6.7.8 内、R6年度繰越分	R8.3.26	R6～R7
令6-単 下水道遠方監視設備子局装置更新工事	遠方監視設備子局装置 N＝一式	38,500,000 (19,250,000)	R6.7.9 内、R6年度繰越分	R8.3.27	R6～R7
令6-防安・交 藤倉污水ポンプ場改築工事	污水ポンプ φ250mm N＝2台 污水吐出弁 N＝3台 污水ポンプコントロールセンタ N＝一式	142,208,100 (40,000,000)	R7.1.9 内、R6年度繰越分	R8.3.4	R6～R7
令6-単 中央ポンプ場入出力装置盤更新工事	入出力装置 N＝一式	29,700,000 (14,850,000)	R7.2.3 内、R6年度繰越分	R8.3.27	R6～R7

工 事 名	施 工 内 容	工事費（円）	着工年月日	竣工年月日
令7-単 新浜町二丁目雨水排水設備工事	リブ付硬質塩化ビニル管 φ450mm L＝49.60m リブ付硬質塩化ビニル管 φ400mm L＝4.85m 組立1号マンホール N＝1箇所	59,515,500	R7.7.17	R8.2.20
令7-単 大日向町2号污水MP場ポンプ更新工事	污水ポンプ φ65mm N＝1台	1,980,000	R7.8.1	R8.1.26
令7-単 向ヶ丘污水MP場ポンプ更新工事	污水ポンプ φ60mm N＝2台	3,300,000	R7.8.1	R8.2.27
令7-単 藤倉3号雨水幹線築造に伴う付帯工事	ネットフェンス H＝1800mm L＝18.30m	2,217,600	R7.7.25	R7.10.28
令7-単 石田污水MP場ポンプ更新工事	污水ポンプ φ150mm N＝1台	14,905,000	R7.8.5	R8.3.6
令7-単 牛生雨水ポンプ場外1箇所蓄電池更新工事	蓄電池 N＝一式	2,112,000	R7.8.9	R8.1.27
令7-単 中央ポンプ場屋根防水更新工事	シート防水 A＝300.0㎡	13,337,500	R7.12.9	R8.3.13



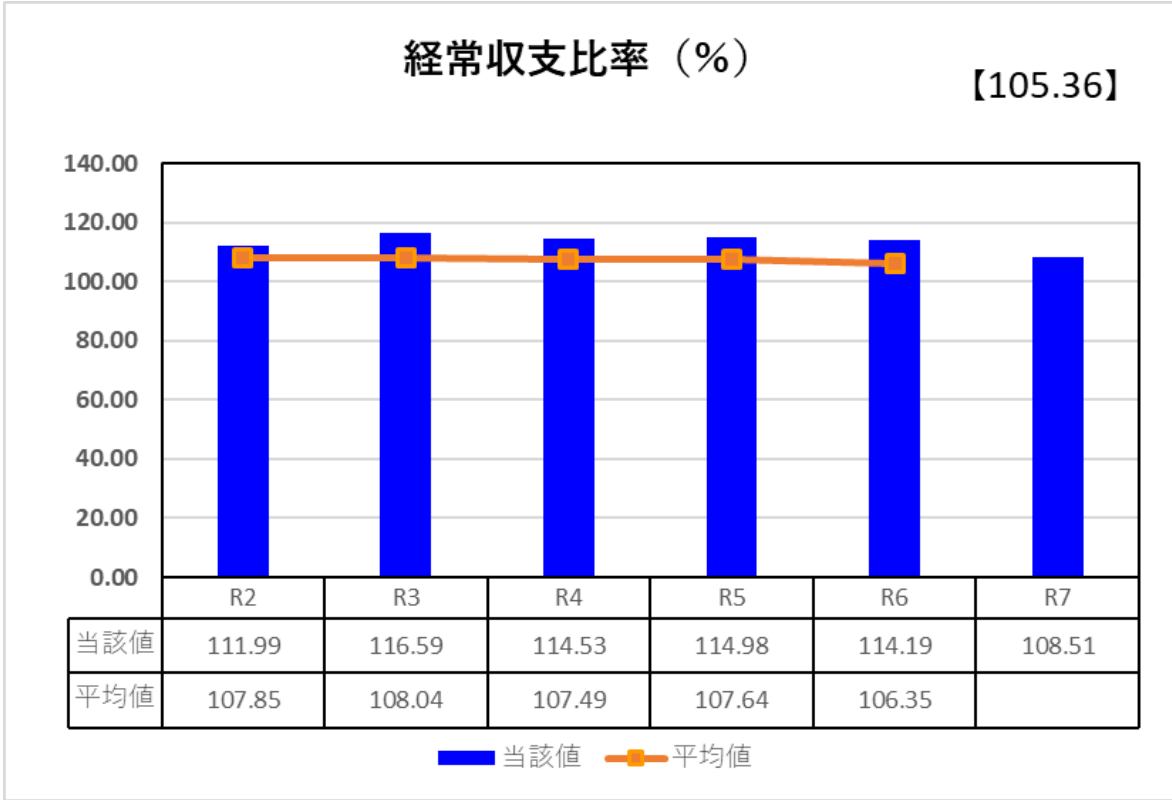
令和7年度下水道事業の取組について

1 3. 経営指標に関する事項

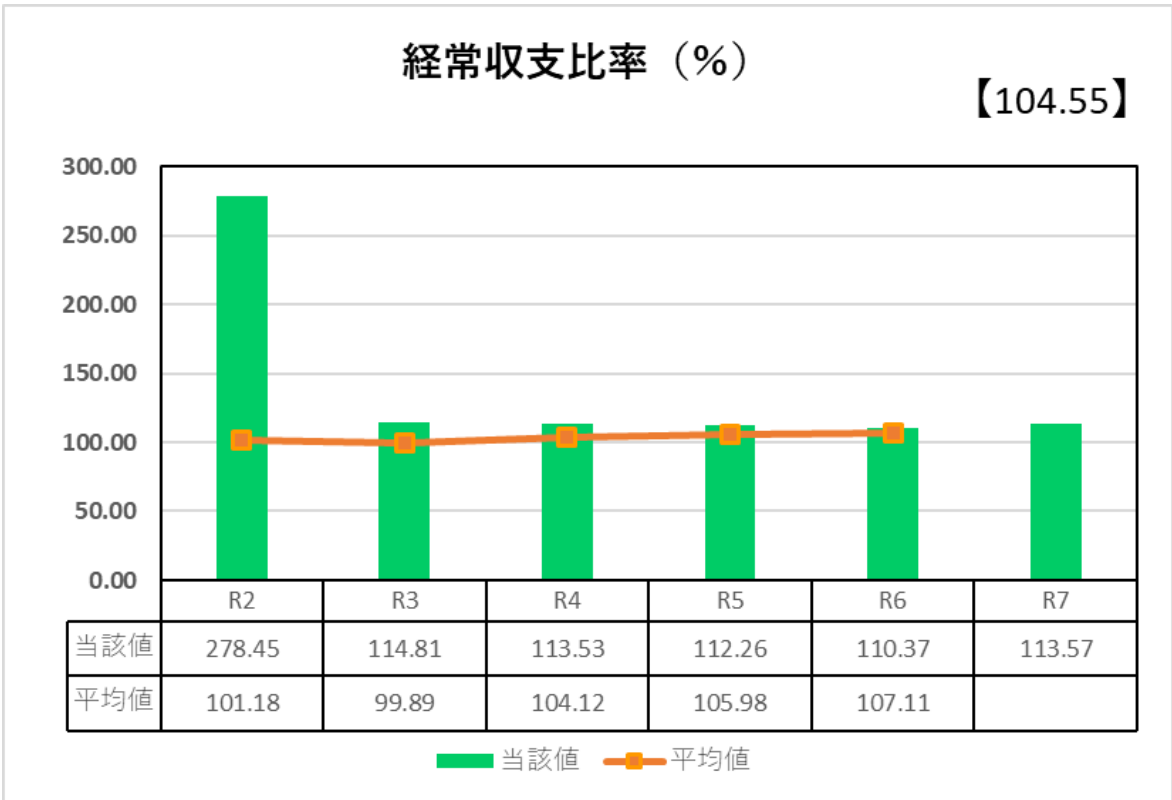
【グラフの見方】

- ・グラフ下の表中、令和7年度の平均値は例年翌年3月頃に公表されるためblankとなっています。
- ・グラフ右上【】内の数値は、全国平均値を、また、グラフ下の表における平均値は、類似団体の平均値を示しています。

【公共】



【漁集】



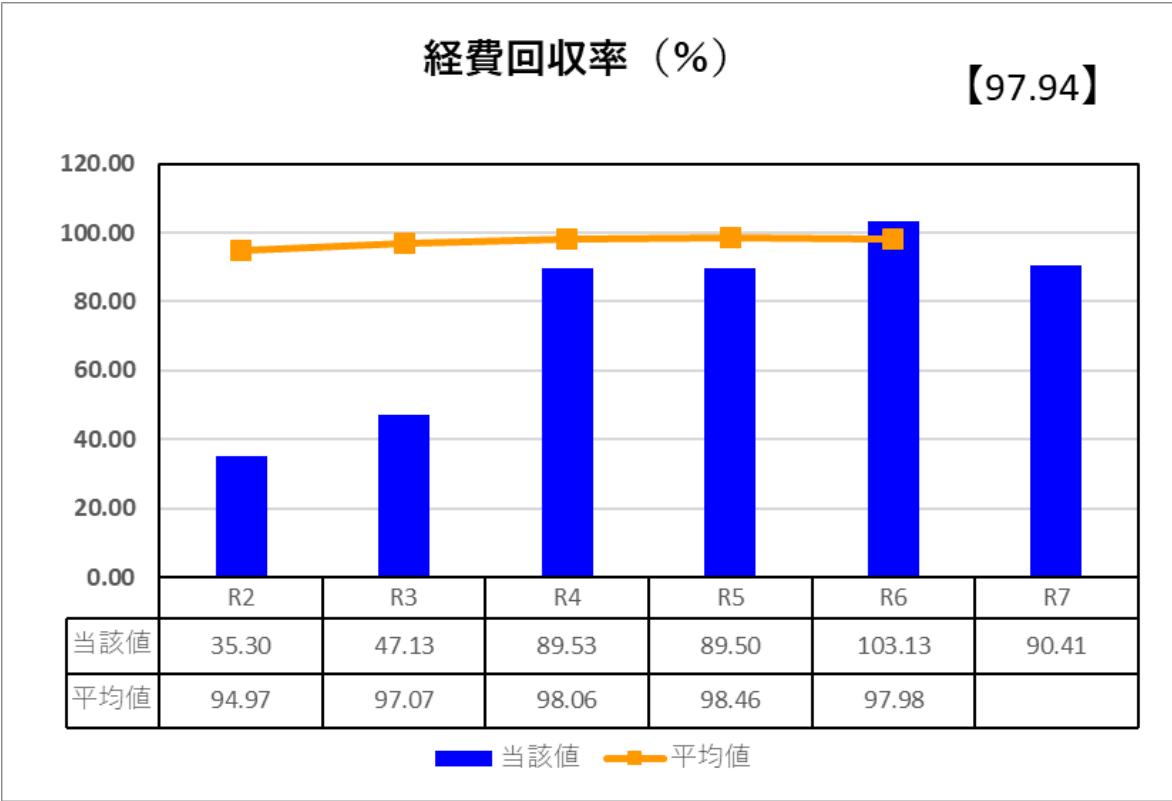
経営の健全性を示す経常収支比率は、収入面で使用料収入や他会計補助金の減などにより減少しましたが、費用面で公共下水道事業計画外業務委託などの例年がない業務がありましたが、下水道施設等維持管理包括的民間委託の導入により費用の抑制が図られ、健全経営の水準である100%を上回っています。

・ 経常収支比率 (%) = (経常収益 / 経常費用) × 100

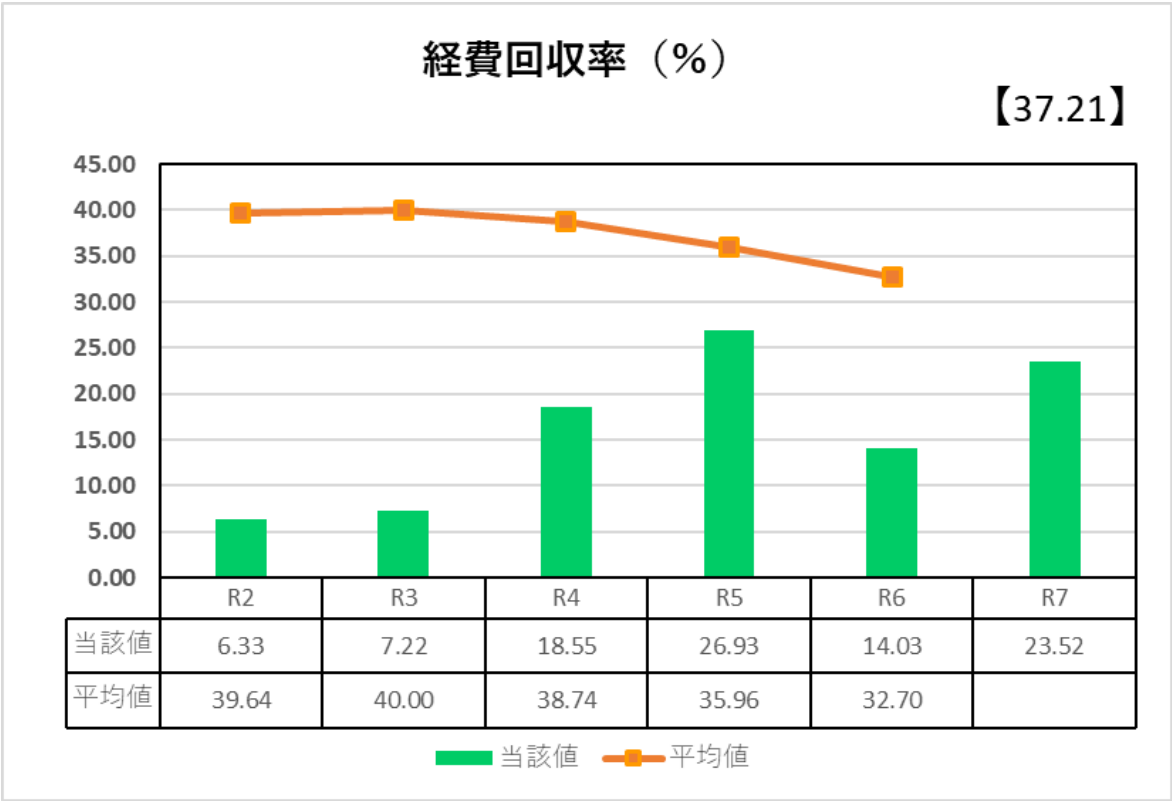


令和7年度下水道事業の取組について

【公共】



【漁集】



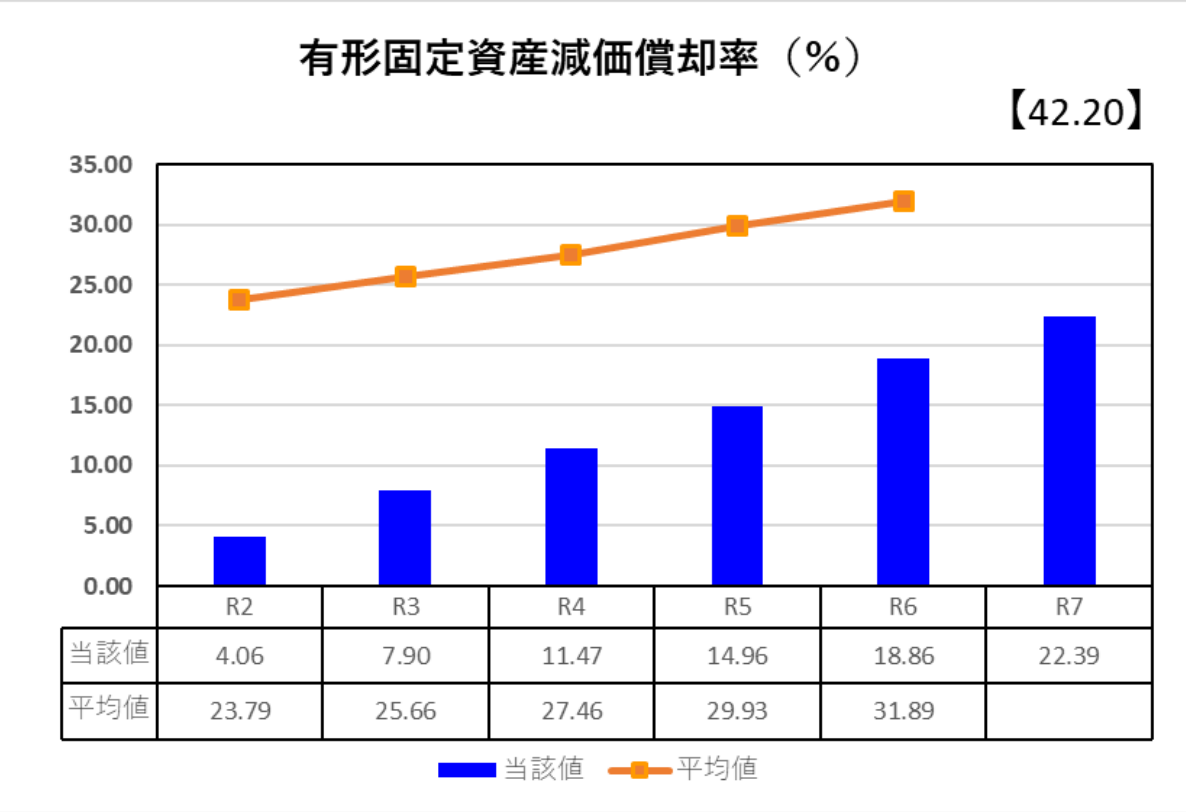
使用料水準の妥当性を示す経費回収率は、汚水処理に係る費用のうち使用料で賄うべき費用を賄えている状況を示す100%を下回っています。

・経費回収率 (%) = (下水道使用料 / 汚水処理費 (R4から公費負担分を除く)) × 100

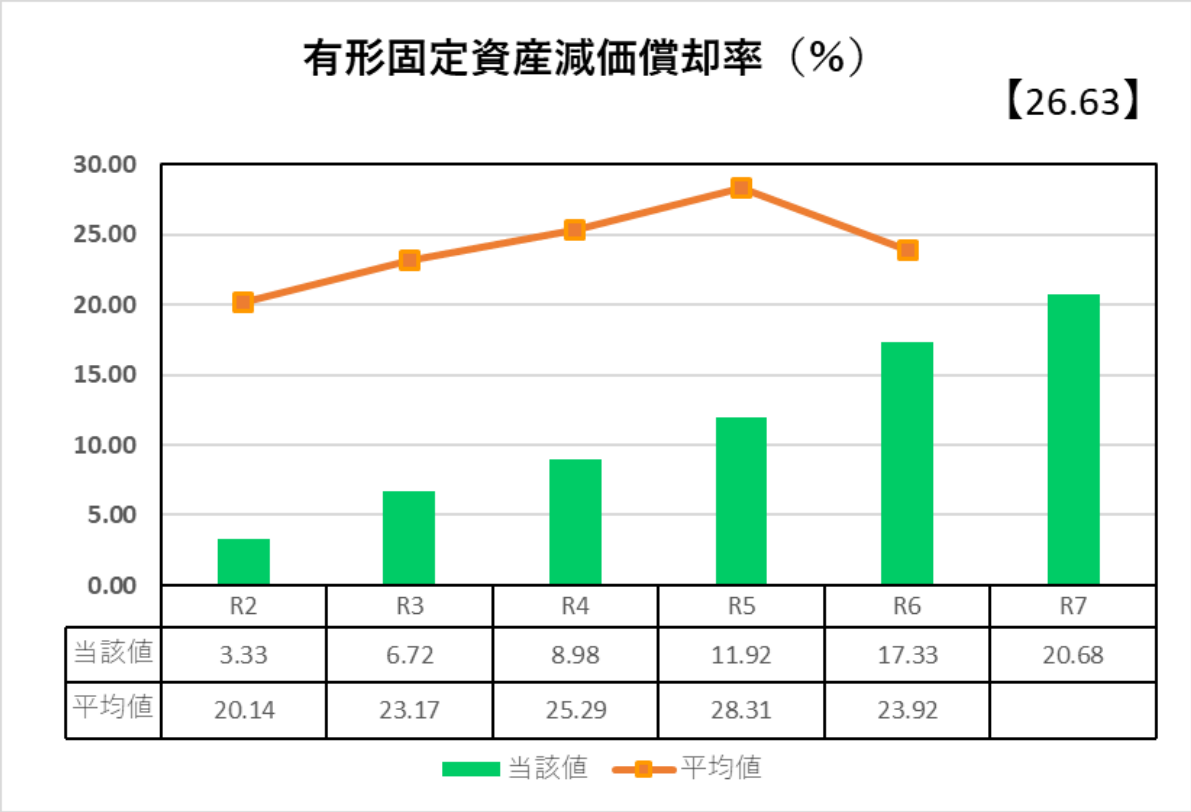


令和7年度下水道事業の取組について

【公共】



【漁集】



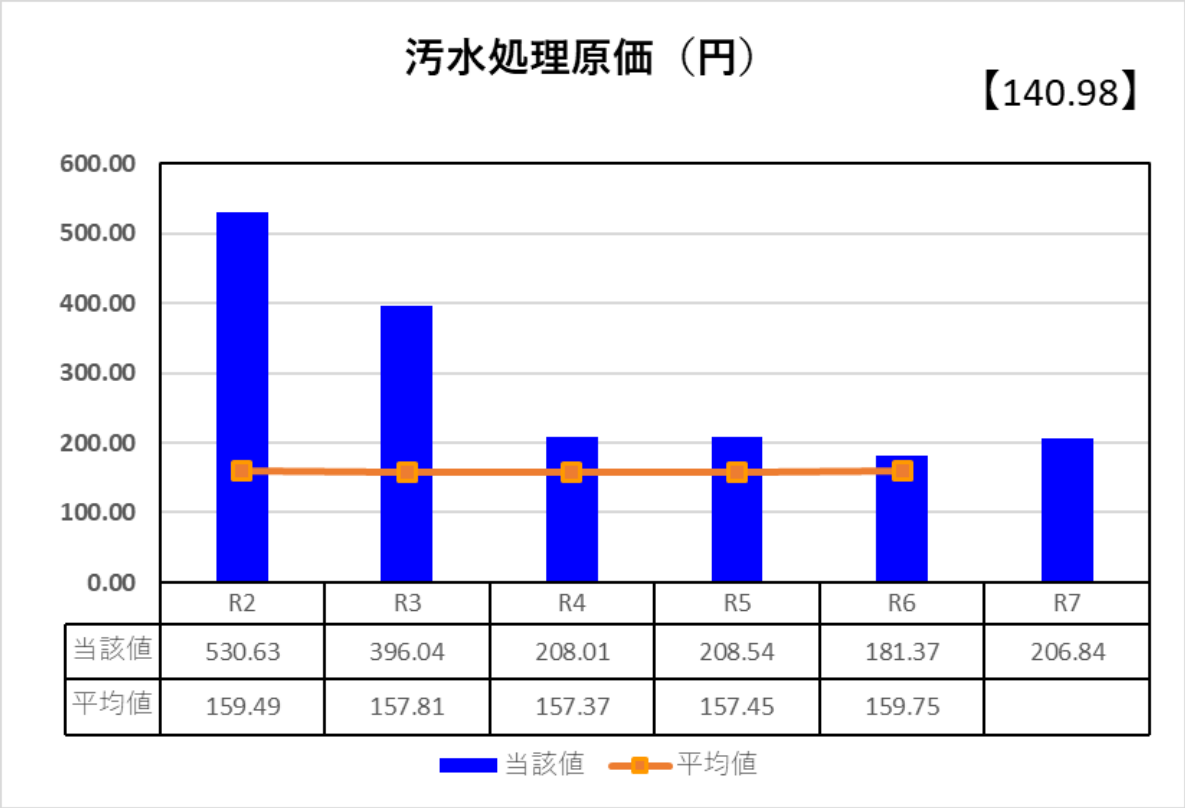
償却対象資産の減価償却の状況を示す有形固定資産減価償却率は進んでいるものの、新浜地区の管渠工事や市内ポンプ場のポンプ及び制御盤の更新工事により、平均値より下回っている状況です。

・有形固定資産減価償却率（％）
＝（有形固定資産減価償却累計額） / （有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿減価） × 100

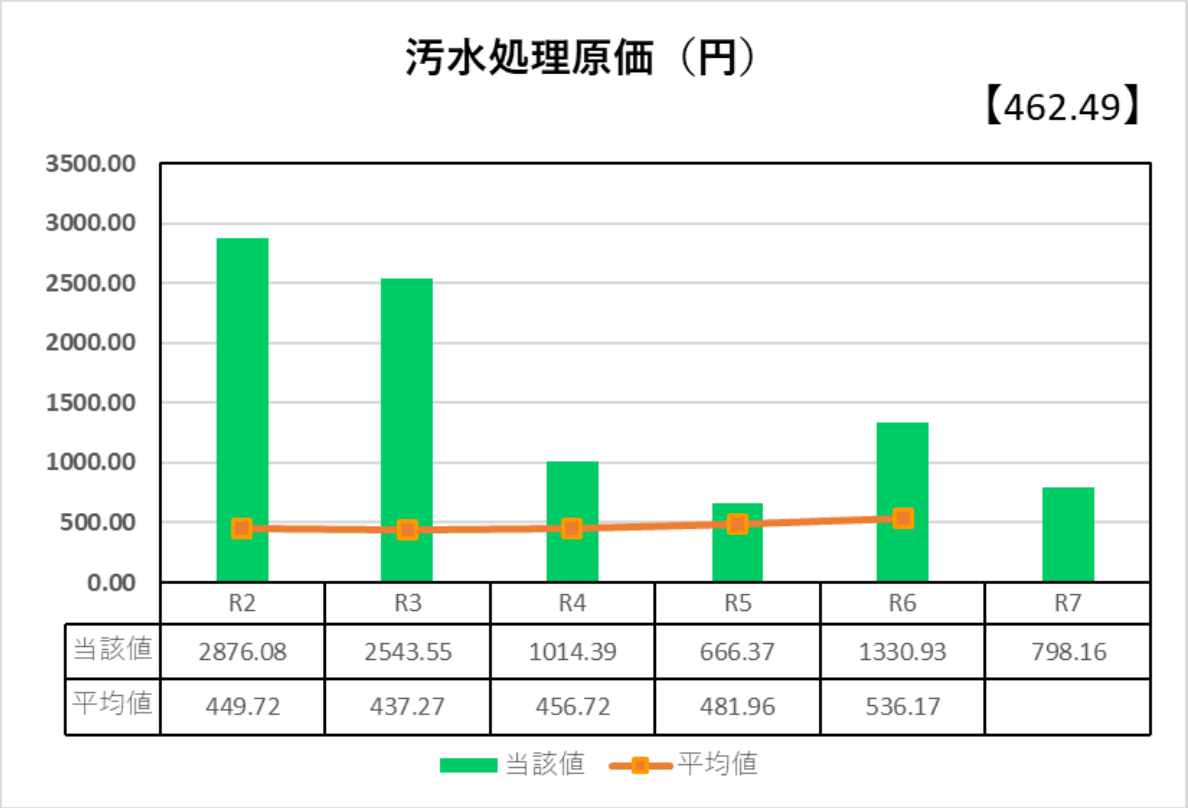


令和7年度下水道事業の取組について

【公共】



【漁集】



汚水処理原価は、1 m³の汚水进行处理するコストを示す指標であり、類似団体平均値との比較では高い水準となっています。

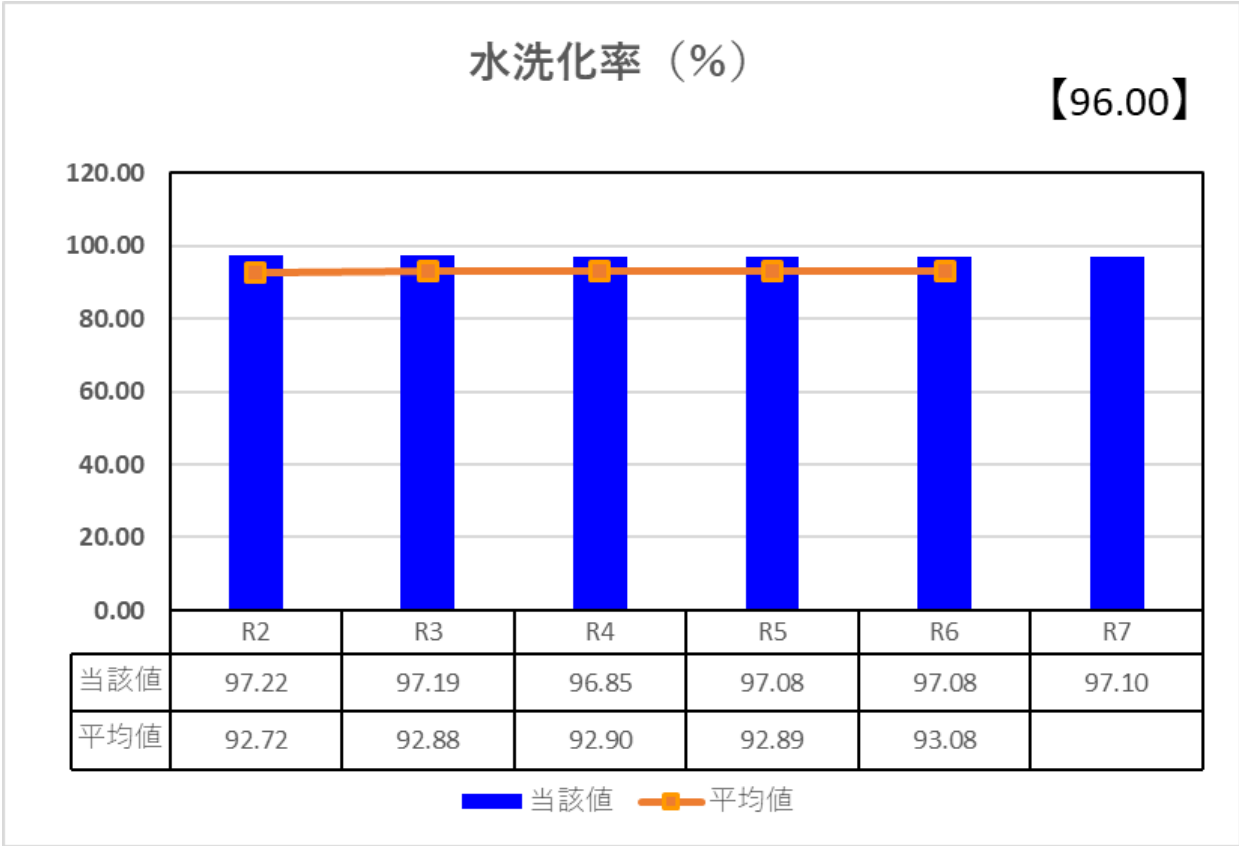
漁業集落排水処理区域内では、離島の人口減少に伴う使用料減により、今後も高い水準が続く見込みです。

・ 汚水処理原価（円）＝ 汚水処理費（公費負担分を除く）／ 年間有収水量

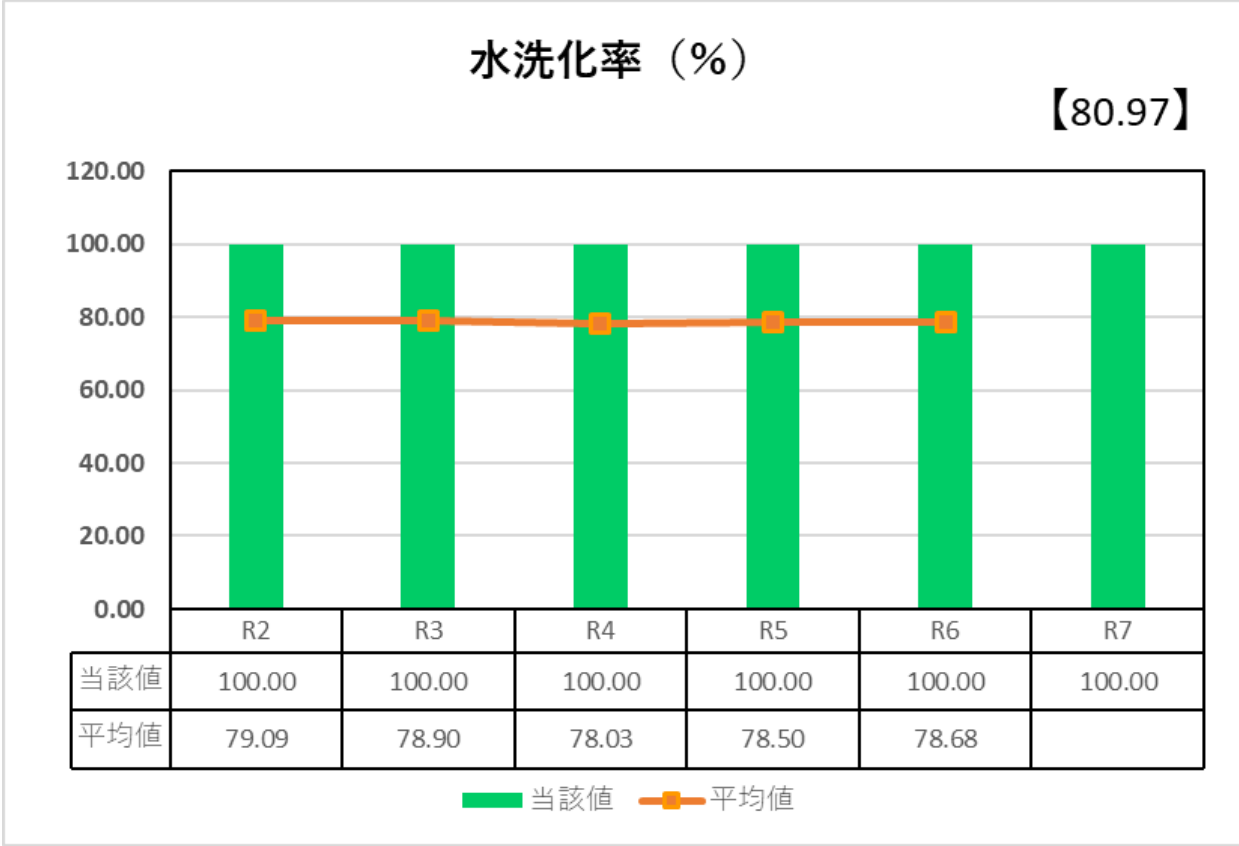


令和7年度下水道事業の取組について

【公共】



【漁集】



水洗化率は、処理区域人口のうち、実際に水洗便所を設置し汚水処理をしている人口の割合を示す指標であり、公共では前年度同水準の97.10%となっています。漁業集落排水処理区域内では全世帯が漁集排を使用しているため、100%となっています。

・ 水洗化率（％）＝ （現在水洗便所設置済人口 ÷ 現在処理区域内人口） × 100



令和7年度下水道事業の取組について

1 4 ． 財 務 諸 表

令和7年度塩竈市下水道事業貸借対照表

(令和8年3月31日現在)

(単位:円)

資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1) 有 形 固 定 資 産

イ 土 地	1,039,509,680	
ロ 建 物	4,838,757,165	
減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 834,374,767</u>	4,004,382,398
ハ 構 築 物	65,651,528,660	
減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 13,831,784,311</u>	51,819,744,349
ニ 機 械 装 置	4,777,406,667	
減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 2,173,867,793</u>	2,603,538,874
ホ 車 両 運 搬 具	321,904	
減 価 償 却 累 計 額	<u>0</u>	321,904
ヘ 工 器 具 備 品	5,273,727	
減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 2,221,333</u>	3,052,394
ト 建 設 仮 勘 定	<u>264,019,446</u>	
有 形 固 定 資 産 合 計		59,734,569,045

(2) 無 形 固 定 資 産

イ 施 設 利 用 権	<u>682,324,616</u>	
無 形 固 定 資 産 合 計		<u>682,324,616</u>
固 定 資 産 合 計		60,416,893,661

2 流 動 資 産

(1) 現 金 及 び 預 金

(2) 未 収 金	142,579,304	
貸 倒 引 当 金	<u>△ 1,478,162</u>	141,101,142

(3) そ の 他 流 動 資 産

流 動 資 産 合 計	<u>0</u>	
資 産 合 計		<u>1,545,716,017</u>
		<u>61,962,609,678</u>

負 債 の 部

3 固 定 負 債

(1) 企 業 債

イ 建設改良費等の財源に充てるため の 企 業 債	14,113,567,161	
ロ それ 以 外 の 企 業 債	<u>32,610,000</u>	
企 業 債 合 計		14,146,177,161
固 定 負 債 合 計		14,146,177,161

4 流 動 負 債

(1) 一 時 借 入 金

0

(2) 企 業 債

イ 建設改良費等の財源に充てるため の 企 業 債	3,299,263,955	
ロ それ 以 外 の 企 業 債	<u>10,100,000</u>	
企 業 債 合 計		3,309,363,955
(3) 未 払 金		147,474,676
(4) 前 受 金		0
(5) 引 当 金		

イ 賞 与 引 当 金	7,970,000	
ロ 法 定 福 利 費 引 当 金	<u>1,602,000</u>	
引 当 金 合 計		9,572,000
(6) そ の 他 流 動 負 債	<u>180,000</u>	
流 動 負 債 合 計		3,466,590,631

5 繰 延 収 益

(1) 長 期 前 受 金

49,698,296,645

(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額

△ 11,457,883,430

繰 延 収 益 合 計		<u>38,240,413,215</u>
負 債 合 計		<u>55,853,181,007</u>

資 本 の 部

6 資 本 金

7 剰 余 金

(1) 資 本 剰 余 金

イ 受 贈 財 産 評 価 額	177,442	
ロ 他 会 計 負 担 金	131,891,180	
ハ 国 庫 補 助 金	0	
ニ そ の 他 資 本 剰 余 金	0	
資 本 剰 余 金 合 計		132,068,622

(2) 利 益 剰 余 金

イ 減 債 積 立 金	499,428,085	
ロ 建 設 改 良 積 立 金	0	
ハ 当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	<u>335,808,081</u>	
利 益 剰 余 金 合 計		<u>835,236,166</u>
剰 余 金 合 計		<u>967,304,788</u>
資 本 合 計		<u>6,109,428,671</u>
負 債 資 本 合 計		<u>61,962,609,678</u>



令和7年度下水道事業の取組について

令和7年度塩竈市下水道事業損益計算書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

1 営業収益		(単位:円、税抜)	
(1) 下水道使用料	1,100,840,660		
(2) 他会計負担金	618,764,000		
(3) その他営業収益	120,540	1,719,725,200	
2 営業費用			
(1) 管渠費	123,542,520		
(2) ポンプ場費	151,305,144		
(3) 処理場費	6,146,488		
(4) 普及指導費	29,690		
(5) 業務費	55,859,098		
(6) 総係費	65,652,729		
(7) 流域下水道管理運営費負担金	290,902,955		
(8) 減価償却費	2,743,462,914		
(9) 資産減耗費	1,531,046	3,438,432,584	
営業損失		1,718,707,384	
3 営業外収益			
(1) 受取利息	0		
(2) 他会計補助金	407,063,000		
(3) 国庫補助金	41,335,000		
(4) 長期前受金戻入	1,759,040,496		
(5) 消費税及び地方消費税還付金	0		
(6) 雑収益	42,781,401	2,250,219,897	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	201,567,578		
(2) 雑支出	17,112,986	218,680,564	2,031,539,333
経常利益		312,831,949	
5 特別利益			
(1) 過年度損益修正益	5,876,957		
(2) その他特別利益	0	5,876,957	
6 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	266		
(2) 臨時損失	0		
(3) その他特別損失	0	266	5,876,691
当年度純利益		318,708,640	
前年度繰越利益剰余金		0	
その他未処分利益剰余金変動額		17,099,441	
当年度未処分利益剰余金		335,808,081	

令和7年度下水道事業 キャッシュ・フロー計算書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(間接法による)		(単位:円)
1 業務活動によるキャッシュ・フロー		
当年度純利益	318,708,640	
減価償却費	2,743,462,914	
固定資産除却費	1,531,046	
特別損失(臨時損失)	0	
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△ 93,276	
賞与・法定福利費引当金の増減額(△は減少)	△ 1,276,000	
長期前受金戻入額	△ 1,759,040,496	
特別利益	0	
支払利息	201,567,578	
未収金の増減額(△は増加)	△ 11,693,640	
未払金の増減額(△は減少)	22,315,211	
小計	1,515,481,977	
利息の支払額	△ 201,567,578	
業務活動によるキャッシュ・フロー	1,313,914,399	
2 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出	△ 450,396,691	
国庫補助金等による収入	72,689,583	
一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	125,407,000	
受益者負担金による収入	73,900	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 252,226,208	
3 財務活動によるキャッシュ・フロー		
建設改良等の財源に充てるための企業債による収入	2,744,200,000	
建設改良等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 3,393,817,697	
その他の企業債の償還による支出	△ 11,050,000	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 660,667,697	
資金増加額	401,020,494	
資金期首残高	1,003,594,381	
資金期末残高	1,404,614,875	



15. 全国特別重点調査について

(1) 概要

埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故を踏まえ、国からの要請に基づき実施した管路調査の結果について報告するものです。

①調査対象 平成6年度以前に設置された口径2m以上の下水道管路

②調査箇所 新富町地内 他

③調査延長 L=約 1.7km
(雨水管路のみ、10路線)

(2) これまでの経過

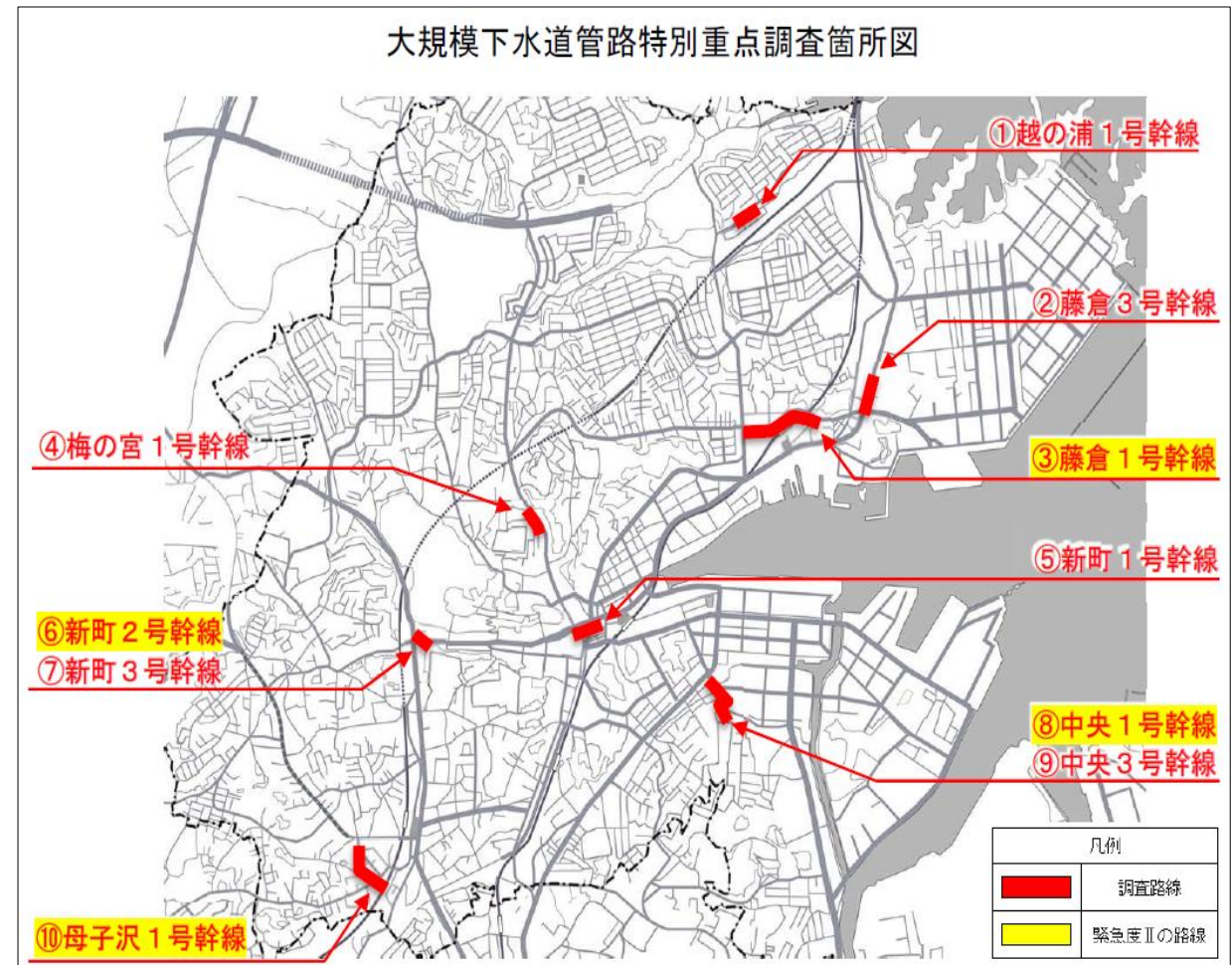
令和7年1月28日：埼玉県八潮市で道路陥没事故発生

令和7年9月：9月定例会において補正予算（調査費）を議決

令和7年10月～：調査実施
(管路内の目視調査、空洞調査)

令和8年2月 6日：国へ調査結果を報告

令和8年4月21日：国が全国の調査結果を公表



令和7年度下水道事業の取組について

(3) 調査結果

- 緊急度Ⅰ**（速やかな対策を実施）の箇所はありませんでした。
- 緊急度Ⅱ**（応急処置をした上で5年以内に対策を実施）は4路線（11箇所）でした。
- 上記の4路線について、路面からの空洞調査の結果、空洞は確認されませんでした。

※緊急度とは、下水道管の腐食、たるみ、破損等をそれぞれ診断し、劣化の度合いにより評価したもの。

(4) 今後の対応

- 緊急度Ⅱ**の4路線については、優先度や実施時期等を整理し、計画的に止水等の対策を進めます。
- 起債等の有利な財源を活用して事業を進めます。

【調査状況】

③
藤倉
1号
幹線
(浸入水)



空洞調査



⑥
新町
2号
幹線
(浸入水)



⑧
中央
1号
幹線
(破損)



⑩
母子沢
1号
幹線
(浸入水)

